

19/1/92

捨てられたペット

実験用 よ 安楽死

譲渡やめます 兵庫県



保健所に持ち込まれた捨て犬や猫を動物実験用に譲り渡ししていることについて、兵庫県は、新年度からこの制度を廃止する方針を、十八日までに決めた。ペットを実験用に使うのは残酷で倫理上問題があるというのが理由で、自治体では初めての措置。神戸市や東京都でも廃止の検討を進めているが、研究者で組織する「国立大動物実験施設協議会」(幹事・九州大、五十二施設)は「研究に大きな支障が出る」と反発している。

動物管理センターに持ち込まれた捨て犬

(神戸市北区で)

▲ 円(六六〇円)で譲っている。

平成二年度は、犬一万七千七百八十四匹、猫九千四百五十五匹のうち計二千三百匹を実験用に回した。

県では、平成元年夏に小学校在飼育中のウサギなどが虐待される事件が連続したのをきっかけに、「動物

衛生行政のあり方検討委員会」(委員長、島田保昭・

このため国立大動物実験施設協では、各自治体に廃止の撤回を要請することにしており、半田純雄・九州大医学部助教授は「現代医学は保健所からの犬を使った実験で進歩してきた。今後の研究に支障が出てよいものか」と訴えている。

「動物実験の廃止を求める会」(事務局・東京都)の野上ふさ子事務局長は「先進国で動物実験に規制のないのは日本だけで、実験施設の公開なども実施すべきだ」と話している。

犬は600円
ネコ1000円
だつてヨ

同県では、飼い主から県内二十六保健所に持ち込ま

れたり、捕獲したりした犬や猫を動物管理事務所(社

町)で安楽死させているが、盛り込んだ動物愛護条例の

健康なのは神戸大医学部など五か所の研究機関に猫千

研究機関は「困った」

れた動物だけを使うよう求めた。

全国で平成二年度に譲渡を実施したのは五十八自治

体で、犬は五万六千匹にの

ほり、実験犬の九割を占め

ていた。

しかし、実験用のビーグル犬は、一四十一二十万

円の購入、飼育費がかか

り、これが廃止されると、研究予算ではまかなえない。

このため国立大動物実験施設協では、各自治体に廃止の撤回を要請することにしており、半田純雄・九州大医学部助教授は「現代医学は保健所からの犬を使った実験で進歩してきた。今後の研究に支障が出てよいものか」と訴えている。

「動物実験の廃止を求める会」(事務局・東京都)の野上ふさ子事務局長は「先進国で動物実験に規制のないのは日本だけで、実験施設の公開なども実施すべきだ」と話している。

健康なのは神戸大医学部など五か所の研究機関に猫千

申。実験には専用に飼育さ

る。

町)で安楽死させているが、盛り込んだ動物愛護条例の

健康なのは神戸大医学部など五か所の研究機関に猫千

申。実験には専用に飼育さ

る。